

東濃社会教育だより No18

-研修・地域学校協働活動編・子ども会-



恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当:長瀬
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 208

コミュニティ・スクール 地域学校協働活動 研修会の様子から テーマ:「地域に開かれた学校」から『地域とともにある学校』へ ～コミュニティ・スクールの推進と地域学校協働活動の未来～

将来の地域を担う子どもを、社会全体で育てるため、国や県は、コミュニティ・スクールの普及推進を図り、地域の教育力を結集した「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」(地域学校協働活動)を推進しています。

今回の研修は、文部科学省 CS マイスターの相田氏を講師に迎え、各地域におけるコミュニティ・スクールの円滑な導入や取組を充実させることを目的として開催されました。

瑞浪会場では、校長先生をはじめ教育委員会関係者など 100 名近くの参加者が集まり、熱心に受講されました。

日時: 1月27日(月)

場所: 瑞浪市保健センター

講師: 山口県教育庁義務教育課

やまぐち型地域連携教育推進班 主査

文部科学省 CS マイスター 相田 康弘 氏



研修会の様子

【講話内容 抜粋】

◇ キーワードは「協働」

協働とは、**同じ目的**のために(目標に向けて)、対等の立場で協力して共に動くこと

◇ 「学校支援」活動を、様々な立場の人が目標を共有して行う「協働活動」に発展できる

- 1 全体の**合意形成(共通目標の設定)**が必要
- 2 **当事者意識**を重視したきめ細かい対応が必要
- 3 学校・地域それぞれの**主体的な取組**が必要

◇ 「情報」・「目的」・「ビジョン」の共有が十分でない

誰かの「**負担感**」につながる可能性

子どもたちの「**迷い**」につながる可能性

◇ 「地域とともにある学校づくり」に向けて大切なこと

協議会での協議や熟議が、「**共通の目的**」に向かうために重要

関係者が意見やアイデアを出し合い『目的や目標を共有』し、みんなで方向性を決めるために、公式な「協議」の場が必要

学校と地域の連携について、みなさんの「今」を振り返ってみてください。

- 学校と地域の連携を「**学校支援活動**」をやることだと思いませんか?
- その連携が「**十分に意見をもらっている**」にとどまっていますか?
- その連携は、「**目標を共有**」して取組が行われていますか?
- その連携は、人(校長、地域の重要人物)が入れ替わっても**持続可能な仕組み**ですか?
- その連携により、人々の「**当事者**」意識は高まっていますか?
- 保護者・地域住民等も計画段階から参画する「**小中一貫教育**」になっていますか?
- 「**学校の業務改善**」について、保護者や地域住民の理解が得られていますか?
- 「**部活動**」の改革について、保護者の意見や地域の実情を加味した協議が行われていますか?
- その連携は、マニュアルにない様々な**学校課題**にも**対応できる**連携ですか?
- 何か問題が発生したとき、保護者や地域住民は**学校の味方、代弁者**となってくれますか?
- その連携は、**将来の子どもの姿**を見据えたものですか?

瑞浪市立釜戸小学校

コミュニティ・スクール発足に向けた企画会の様子から

釜戸小学校は、令和3年度から、コミュニティ・スクール(以下CS)を発足させる予定です。

企画会では、教育委員会と釜戸小の校長先生が、学校を支える各団体代表の皆さんに、他地区のCSの様子、組織、予算等、CSの立ち上げ準備期間について説明されました。

参加者からは、「CSとなることで子どもが誇れる場となることを期待したい」「これまでより会議が増えることで、先生への負担はないか」等の意見や質問が出されました。

瑞浪市は、「ぎふ地域学校協働活動センター」の支援プログラムのかも借りつつ、今後、進めていくCSと地域学校協働活動の推進に向け、市民協働課、社会教育課、学校教育課の合同会議を開催しています。今後も市や学校等の場で、様々な団体と熟議を重ね、共通の目標のもと、持続可能な地域学校協働活動が、活発に行われていく予定です。

日時：1月30日(木)

場所：瑞浪市立釜戸小学校

内容：

- 1 教育委員会からの説明
 - ・コミュニティ・スクールとは
 - ・瑞浪市におけるコミュニティ・スクールの計画
- 2 学校運営協議会の組織・計画にかかわる提案
 - ・めざす子ども像
 - ・学校運営協議会の組織及びメンバー
 - ・活動計画
- 3 質疑応答



企画会の様子

東濃子ども会連合会 理事会の様子から

第2回東濃子ども会連合会理事会が行われ、今年度の事業報告と来年度の事業計画が検討されました。

活動報告では、各市の特色ある事業やジュニアリーダーの活躍が詳しく説明されました。参加した理事の発言からは、実践事例の成功例を聞いて、自分たちの市にも取り入れ、活動をよりよいものにしようとする意気込みを感じました。

ジュニアリーダーや指導者の人材不足などの問題も話題となりました。現在、各市で活躍するジュニアリーダーが今後も活躍できる子ども会の継続を願っています。



理事会の様子

日時：2月12日(水)19時～

場所：瑞浪市総合文化センター

【各市の活動報告：抜粋】

【多治見市】

- ・夏期インリーダー研修会
- ・野外炊事体験会、マンスリーレポート 等

【土岐市】

- ・インリーダー宿泊研修会(107人参加)
- ・GINO CON(77人参加)等

【瑞浪市】

- ・中央公民館文化祭「子ども広場」(2日間368人)
- ・各地区の活動紹介 等

【恵那市】

- ・理事研修会(育成者のドッジビー体験)
- ・ディスクドッジ交流会(約240人参加)等

【中津川市】

- ・小学生リーダー研修会(32人参加)
- ・ジュニアリーダー募集について 等